



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2019
1.31
No.55

介護福祉経営士 活動レポート Vol.25

介護現場の新戦力 「シニア世代」への期待



CONTENTS

介護福祉経営士 活動レポート Vol.25	
介護現場の新戦力 「シニア世代」への期待	2
入選作品掲載 第3回 「介護福祉のみらい」作文 コンクール	4
●合格者の声	5
●今月の「介護ビジョン」 ●今月の書籍紹介	6
●INFORMATION	7
イベント掲示板	8

一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
ニッテン神田ビル3階

現在の介護福祉業界において、喫緊の課題でありながら、打開策を見出せない「深刻な人材不足」。公益財団法人介護労働安定センターが実施した「平成29年度介護労働実態調査」においても、従業員数に不足感があるとの回答が7割近くに達しており、平成25年以降4年連続で不足感が増加している。これは、働き手の不足にあえぐ事業所の姿を浮き彫りにするデータと言える。

このような状況の中、現場をはじめ行政の期待を集めているのが、定年退職後も強い社会参加意欲をもつシニア世代(60歳以上)である。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会がシニア世代の雇用状況の調査のために実施した、経営者として活躍する介護福祉経営士へのアンケート調査の結果を元に、シニア世代の現状と今後についてレポートする。

介護現場の新戦力 「シニア世代」への期待

「シニア世代の雇用の現状と今後に関する経営者意識調査の概要」より

(対象:介護福祉経営士の資格を持つ経営者 調査期間:12月13日~12月26日)

シニア世代の活躍は 既に始まっている

シニア世代は、回答のあった事業所全てにおいて何らかの形で雇用されているとの結果となった。加えて、67%の事業所において全従業員の1~3割程度が正規雇用されていた。また、事業所の方針として正規職員の5割以上をシニア世代が占めているケースもあった。

また、シニアが活躍している主な業務は「介護福祉士資格に準じた業務」及び「無資格で行える範囲の業務」の割合が共に高く、次いで「(准)看護師資格」、「初任者・実務者研修修了資格」に準じた業務に従事しているケースが多かった。

このことから、現状でも介護福祉業界においてシニア世代が確かな戦力として活躍していることがわかる。

シニア世代の雇用については 肯定的な事業所が多い

シニア世代を積極的に雇用していきたいと考えている事業所は89%、同等の割合で介護業界の経験がなくても意欲が高ければ構わないとの回答があった。

また、全ての事業所からシニア世代の登用を介護人材不足の解決策として期待しているとの回答があったことから、シニア世代への強い期待感がうかがえる結果となった。

期待される活躍の場は様々

シニア世代を雇用した際に期待する業務として最も多かったのは、「送迎(ドライバー)業務」であり、全ての事業所から「期待している」との回答があった。次いで多かったのは「利用者とのコミュニケーション」で89%、以降は「生活援助を中心とした業務」及び「若い世代への指導・相談相手」が67%、「営業など前職での経験を活かした業務」56%、「事務作業などのケア以外の業務」33%と様々な場面での活躍が期待されていることがわかった(次ページの表を参照)。

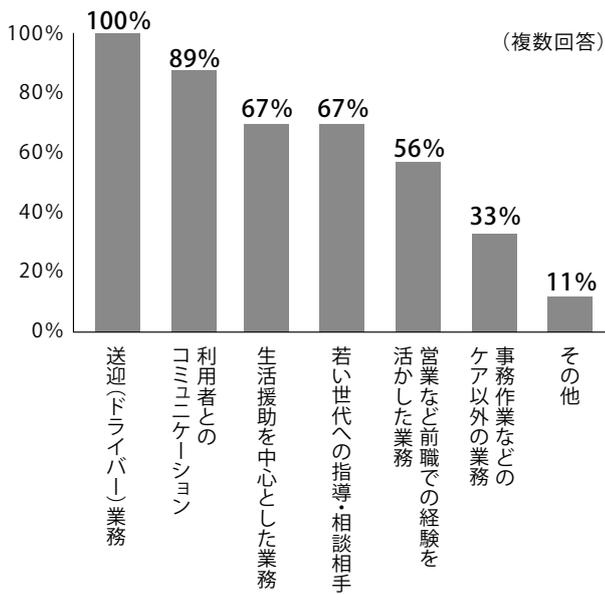
特にもっとも回答の多かった「送迎(ドライバー)業務」については、利用者を安全に移動させるための重要な役割を担うと共に、場合によっては通院送迎や、職員の移動、備品の買い出しなどでも活躍する場面が多い。

事業所側でもその部分の負担軽減に期待を寄せる気持ち大きいようだ。

また、注目したいのは「営業など前職での経験を活かした業務」について半数以上の事業所から期待が寄せられている点である。

「事務作業などのケア以外の業務」への期待も合わせて考えると、介護のコア業務で手いっぱい現状を打破するために、業務改善のきっかけとしてシニア世代に期待を寄せる思いもあるようだ。

表 シニア世代に期待する業務



シニア世代への思い

最後に、アンケートに寄せられたシニア世代の雇用に関するコメントを一部紹介する。

シニア世代の活躍を歓迎する声がある一方で、若年層の雇用が適わないため、仕方なくシニア世代の雇用を行っているというコメントも寄せられた。期待半分・不安半分というのが現場の率直な感想のようだ。

不安を払しょくするためにも今後は『介護福祉経営士ニュース』2018年8月号で取り上げた「ソーシャル・サポーターズ」(下段参照)のような様々なモデルケースを生み出し、検証していくことが必要だろう。併せて、シニア世代をスムーズに受け入れ、なるべく長く就労してもらえようような制度作りが課題であると思われる。

アンケートへのコメント

コメント 1

私たちの会社でも、シニア世代の人は、若い世代と一緒に、笑顔で協力し合って頑張っています。60歳でも70歳でもやる気と気持ちがあれば、介護業界でも問題ないと思っています。今後も世代関係なく、地域と一緒にシニア世代のお力も借りながら、頑張りたいと思います。

コメント 2

景気の回復に伴い、国内の広い分野において社員(職員)の採用数が急増傾向にあり、全体的に人手不足が深刻化しております。とりわけ、福祉分野にあつては、専門課程の学校を希望する生徒数が減少していることもあり、各施設とも職員の確保に苦慮していると思われます。そうした中、60歳以上の求職者を有効的に採用することは、施設にとって有意義であり、本人にとっても今後の人生に生きがいを感じてもらえることだと考えます。“人生100年時代”と言われる現代、シニア世代の活用は真剣に考える時期にあると思われます。

コメント 3

自社において60歳以上の従業員数が全従業員の3割を超えるが、「望まずして」というのが本心ではある。人材の不足(生産人口の減少)や、低賃金、また特定の時間帯における業務という条件下で若年層の採用が適わず、現状がある。事業の安定を図る上で長期勤続者を育む環境は必須であり、世代の差による刺激という側面を差し引いても、60歳以上の従業員数は1割程度に留めたいところである。60歳以上の世代として、就業を考えるのであれば、年長者として後進を育てることに専心し、他従業員の支援を中心に活躍することを望む。決して、自身が主役となり、成果を上げることは求められてはいないことを理解できるように、分別を働かせることのできる教育を受けた上で、人材として受け入れる体制が必要と思われる。

調査にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ソーシャル・サポーターズとは?

介護人材不足と介護離職問題を同時に解決する事を目的とした新事業。企業等を退職したシニア=ベテランズが介護福祉業界で「ソーシャル・サポーター」として様々な形で活躍する仕組みを構築している。経済産業省の「健康寿命延伸産業創出推進事業(地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業)」の公募事業であり、2018年度は神奈川県をモデル地域として実践中。株式会社日本医療企画を中心に、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、株式会社浜銀総合研究所が参加団体として協働する。介護業界からは、公益財団法人かながわ福祉サービス振興会、横浜みなと介護福祉事業協同組合が協力団体として加わる。



vol.3

入選作品掲載

第3回「介護福祉のみらい」作文コンクール

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が実施した第3回「介護福祉のみらい」作文コンクール。全国から寄せられた420編より選出した入選作品を紹介する。

優秀賞

「私の気持ち相手の気持ち」

増田 千紘さん

(栃木県立真岡北陵高等学校 教養福祉科2年)

「介護」という言葉を聞くときどのような事を思い浮かべるでしょうか。最近では、介護が社会問題になりつつあり、悪いニュースばかり耳にします。では、なぜ介護は悪いニュースばかり耳にするのでしょうか。

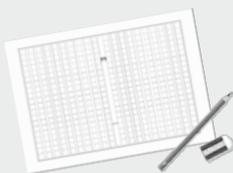
私が介護について考え始めたのは、高校に入学してからのことです。最初は人の役に立ちたいという軽い気持ちから福祉を学んでいました。しかし、昨年度のデイサービスやグループホームでの実習、その他ボランティア活動やさまざまな人との交流会で、ある一つのこと気づきました。それはどんな障害をもっていたとしてもどんな病気をもっていたとしても、その人たちにもできることはあるということです。また、私たちに今見えているものが突然見えなくなったとしましょう。普通ならば大体の人が「何も見えない」と感じると思います。しかし、全盲の方はこれが当たり前なのです。学校の授業の一環として、全盲をもつ女性の方の講話を聞きました。その中で一番胸に響いた言葉が「あなたたちにとっては、私のことは目が見えない人。けれど私にとっては目が見えないことが当たり前なんです。」私はこの時に一人一人当たり前だと感じることはその人にとって当たり前ではない、つまり人はそれぞれ違う考えをもっているということに気づきました。また、その女性は自分で髪を結ぶことやりんごの皮をむくことができます。この様子を見せて頂いた時、「すごい。」と感じま

した。しかし、これもこの人自身にとっては普通のことなのです。それから、色の判別には機械を通して知ることができるそうです。好きな洋服や日用品など自分の好きな色と見分けながら買い物をしていると聞き、この時人に頼らず全て自分で行いたいという意志が伝わってきました。このことから、利用者の方とコミュニケーションをとる時や友人との何気ない日常会話など人との関わりの中で相手を思いやる気持ちがとても大切なのだと感じました。

もしかしたら、近い将来自分の親や身近な人たちが介護を必要とする人となるかもしれません。これは、決して恥ずかしいことではなく、誰もが通る道だと私は思っています。介護とは、お互いを知り合い理解することが大切です。コミュニケーションをとるということは、相手との良い信頼関係を築くことができます。私は、ここ一年間で、人の役に立ちたいだけでなく、相手ができることは何か、今相手は何を想い、何を伝えたいのかを考えながら幸せにすることができる介護福祉士になりたいと思っています。私は、高校を卒業したら介護福祉士として働けるよう来年度受験する国家試験では絶対に合格したいと思っています。そしてプロの介護福祉士となるために今では、もっと福祉の知識や経験を積み重ねていきたいと考えています。今後の福祉の未来がより良い物となるように伝えていきたいです。

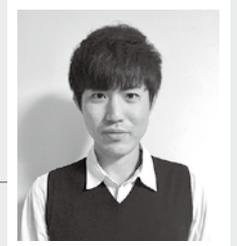
受賞者コメント

私は相手ができることは何かを考え、どんなことを思い、考えているかを感じ取ることができる介護福祉士になりたいと思っています。この作品で優秀賞をいただくことができ、嬉しさ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



(左から)増田千紘さん、同じく優秀賞を受賞した柏倉まりあさん

患者と接する機会が多いリハ職として 多職種連携のカギになる



岩本 佳祐 ●いわもと・けいすけ

医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院
リハビリテーション部
介護福祉経営士2級

本人の自立と家族の介護負担軽減に なくてはならない介護保険サービス

高齢化が進む社会で人の役に立ち、必要とされる仕事がしたいと考え、理学療法士になりました。現在は、脳神経外科病院で訪問リハビリを中心に担当していますが、病院との連携を図る意味も兼ねて回復期病棟の入院患者さんのリハビリも兼務しています。

脳卒中を患った方が主な対象ですが、疾患の特性上、退院後も後遺症を抱えた状態で生活することを余儀なくされる方が多く、ご本人の自立を促しご家族の介護負担を軽減するためにも、介護保険サービスはなくてはならないものになっています。

訪問リハビリでは、生活に必要な動作や患者さん個人ができるようになりたいことを中心に練習します。私たちが介入しているなかではうまくできていても、実生活ではうまくできないことや、自信がないために敬遠していることが少なからずあります。提供している内容は本当に最適なのか、など非常に葛藤が多い日々を送っていますが、回復していく様を目の当たりにしたときや練習したことを実生活でできたと報告を受けたときなどは、もっと良い内容を提供できるように頑張ろうという気持ちになります。

範囲が広いテキストは、確認問題を スマホで撮影して空き時間に確認

職場では、入院中から退院後に利用するサービスを検討し決定する場面が多く、リハ職、看護師、社会福祉士など多職種の連携が必須です。普段から患者さんと接し、安全に生活する上で必要なことが判断できるリハ職が介護保険制度を理解することで、より連携が図りやすくなると考えています。また、リハビリ場面をご家族が見学する際には必要な

情報を直接伝えることができるため、退院支援にも役立つと思います。

「介護福祉経営士」の受験も、介護保険制度について勉強するモチベーションとし、正しく理解できているか確認するためでした。また、自分自身の可能性を広げることができると思ったからです。

試験日程が自由に決められる点は非常に便利である反面、いつでも受けられるという理由で漫然と勉強してしまうこともあるため、セルフマネジメントが重要です。早めに試験時期を決めて、一日ごとの勉強範囲を決めるなど工夫しましたが、出題範囲が広く、講師もいないため要点の確認が難しかったです。そこで、都度、確認問題で復習するようにしました。一通りテキストを読み終えた後は、全ての確認問題をスマートフォンで写真に撮り、空き時間に確認。今では患者さんに説明できることが増え、より安心感を与えられるようになったと思います。

リハ職として、介護保険制度を 正しく理解して活用する手助けになる

そもそも、介護保険サービスをよく知らない人や、サービスを選択する際に受給者の主体性が損なわれていることが少なくないと思います。また、国の方針として介護保険サービスからの“卒業”が推奨されていますが、地域によって“卒業”に向けた取り組みに差があるようにも思います。

今後は、ご本人やご家族が介護保険制度を正しく理解して活用できるよう、ときに応じて必要な知識を伝えられるようになりたいです。さらに、訪問リハビリを通じ、その次のサービスへの移行を手助けできるようになりたいと考えています。

「介護福祉経営士」を取得したことで自分たちが活躍できる場が増えることを期待しています。

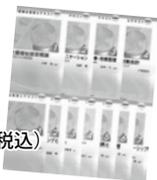
介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

介護福祉
経営士テキスト
のご案内

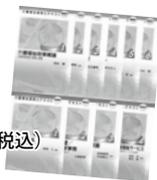
介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編
全11巻
セット価格：
25,710円(税込)



介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編
全10巻
セット価格：
23,660円(税込)



いま
なら

「介護福祉経営士2級資格認定試験対策
— 合格サポートブック —」がもらえる!!

「合格サポート
ブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
- 予想問題を掲載
- 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。

※解説は(株)日本医療企画によるものです。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ
▶<http://www.jmp.co.jp/>

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

地域介護経営

地域
特集

福島県会津若松市・喜多方市から見る 地方都市の介護事業所の挑戦

地方部では過疎化が進み、老老介護や独居高齢者などの場合、在宅生活を続けるのは難しくなっている。そうしたなか、大型の施設を開設し集住化を図るほか、高齢者福祉以外の事業展開を図り、地域課題解決に取り組む社会福祉法人の活躍も目立ってきている。

本特集では、福島県会津地方を中心に事業を展開している法人の取り組みに注目。それぞれがどのようなアプローチで地域を支えているのか、その狙いと戦略を追う。



介護が変わる 地域が変わる **地域介護経営** 2月号

◆ 福島県会津若松市・喜多方市から見る
地方都市の介護事業所の挑戦

◆ 改正労基法の施行が関連
介護現場の“働き方改革”にどう取り組むか?

トピック 我党佳世
Innovator 松尾 浩一

2019年2月号
(2019年1月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)

今月の
書籍紹介

看護師のしごととくらしを豊かにする⑪

看護師のための アドラー流 子育て・自分育て

あなたが変われば、子どもも、家庭も、職場も変わる!

ひとりで頑張らない! 6割主義でも大丈夫!
子どもは、信じて、待って、任せて育てる



ベストセラー『看護師のためのアドラー心理学』の著者が、仕事も家事も子育ても完璧主義者が多い働く女性の方へ、心も身体もラクになる6割主義でうまくいく新たな子育て・自分育てを提唱! 子育てが完璧でなくても、“罪悪感”は不要です。子どもには、「ごめんね」ではなく、「ありがとう」と伝えてください。親と子がともに成長する、子育てに活かせるアドラー心理学の教えが満載! 言葉の発達に好影響を与えるベビーサインの紹介や、自分の心の内部が明らかになる書き込み式ワーク、人生を前向きにする言葉・アフメーションも収載。

はじめに——ひとりで頑張らない! 6割主義で信じて待って任せる

目次

第1章 子育てに活かせるアドラー心理学の考え方
第2章 子育ての前に必要なこと
第3章 ひとりで頑張らない! 周りとともに子育てを
第4章 年齢別の関わり方①——心の土台をつくる乳幼児期
第5章 年齢別の関わり方②——信じて待って任せる児童期
第6章 大人が自分の人生を主人公で生きることが、子どもの自立につながる

おわりに——大切なことは、あなたが、あなた自身の心を整え、あなたの人生を歩み始めること

【著者】長谷静香(はせ・しずか) コミュニケーションサロン 勇気のしずく代表。
心理カウンセラー・看護師・保育士。
【体裁】四六判/272ページ 【定価】本体1,500円+税
【ISBNコード】978-86439-770-4 【発行】日本医療企画

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

「介護福祉経営士」資格認定試験 合否判定の際、科目別の得点率が 表示されるから 得意分野と苦手分野を把握できます！

「介護福祉経営士」資格認定試験は、CBT方式で実施しています。

試験会場は全国約200会場から選ぶことができ、自分の予定に合った日程、時間に受験することができます。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすく役に立つ教育システムとして進化しています。

受験方法や受験申込については、本会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にてご確認ください。

【CBT方式による4つのメリット】

- 1) 自分のペースで無理なく学習。自信がついたら受験を申し込み。
→学習用の推薦図書に『介護福祉経営士テキスト』(全21巻、発行:日本医療企画)があります。
- 2) 自分の予定に合った日程、時間にチャレンジできます。
→年末年始を除きいつでも受験可能になりました(試験会場によって異なります)。
- 3) 試験会場はご希望の会場を選べます。
→全国約200会場で実施しています。
- 4) 試験が終わったらその場ですぐに合否をスピード判定。
→合格して、その場で証明書が発行されます。

CBT方式とは……

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日*)受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

関西支部

【2月期】医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士 合同研究会

地域包括ケア時代を見据えた「まちづくり」の在り方をテーマに、「在宅医から見た地域インフラとしての社会活動」と題して開催。医療・介護連携、多職種連携のモデルケースなど、ユニークで先駆的な事例紹介を交えながら、次世代が求める理想の地域社会に向けたインフラ整備の現状と課題を考察する。

- 日時：2019年2月16日(土) 14:00～17:00
- 講師：太田俊輔氏(太田医院院長)
- 会場：上田公認会計士事務所セミナールーム
(大阪府大阪市中央区道修町1-7-10 扶桑道修町ビル2F)
- 受講料：協会会員：2,000円、一般：3,500円
※税込
※終了後、懇親会を予定(自由参加、会費4,000円)
- 定員：35名
※満員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL.06-7660-1761

日本医療企画

地域・スタッフから選ばれる介護事業経営 の戦略と戦術～業績・稼働率UP、人材採用・教育方法～

地域で生き残るためには地域からも職員からも選ばれることが不可欠！介護経営コンサルティングのスペシャリストがその秘訣を伝授する。

- 日時：2019年2月6日(水) 10:30～15:30
- 内容：第1部「高齢者住宅・有料老人ホームの稼働率UP術」
第2部「人材確保・定着のための手法」
第3部 共催団体による個別相談会(参加は任意)
- 講師：糠谷和弘氏(株式会社スターコンサルティンググループ代表取締役)
- 会場：仙台銀行本店9F講堂(宮城県仙台市青葉区一番町2-1-1)
- 参加費：無料(事前申込制)
- 定員：100名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 共催：株式会社仙台銀行・株式会社きらやか銀行
- 後援：日本介護福祉経営人材教育協会、日本医療経営実践協会 他

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 東北支社
TEL.022-281-8536

日本医療企画

経済産業省「健康寿命延伸産業創出推進事業」補助事業 企業人事担当者のための介護離職防止セミナー

日本の少子化社会における企業課題は人材確保でありその中でも「介護離職」の問題こそが最大の経営リスクであると言われている。本セミナーでは介護離職防止に取り組む企業の事例を紹介。また、企業定年退職者による介護業界への貢献事業もあわせて紹介する。

- 日時：2019年2月5日(火) 14:00～17:00
- 内容：
第1部：基調講演「介護離職しない、させない」
和氣美枝氏(一般社団法人介護離職防止対策促進機構代表理事)
- 第2部：パネルディスカッション「介護離職をどう防止するか」
- 会場：ロイヤルホールヨコハマ(神奈川県横浜市中区山下町90)
- 参加費：無料
- 定員：110名
- 後援：横浜市経済局・健康福祉局／株式会社浜銀総合研究所

お問い合わせ 株式会社日本医療企画
「ソーシャル・サポーターズ」事業事務局
TEL.03-3256-2863

日本医療企画

医療・介護事業経営セミナー2019 激変する医療・介護保険制度の動向を徹底解析!!

医療・介護事業経営セミナーを、福岡と岡山にて開催。2020年度改定を見据えて経営戦略を考える、経営者・管理者必聴のセミナー。

- 日時：2019年3月17日(日) 13:30～17:00
- 講師：中林梓氏(株式会社ASK梓診療報酬研究所所長)
- 会場：第一セントラルビル1号館 9F 大ホール(岡山県岡山市北区本町6-36)
- 参加費：無料(事前申込制)
- 定員：100名
※福岡会場は募集定員に達したため、参加申し込みを締め切らせていただきました。
- 共催：大和ハウス工業株式会社

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL.06-7660-1761



日本医療企画

医療×経営×未来 ハイブリッドセミナー 薬局マネジメント3.0と新たな医療環境の創造(仮)

毎回、医療経営のフロントランナーが登場し、未来に向けた挑戦を特別に披露。フロントランナーの価値観に触れ、交流を持つことのできる貴重な機会だ。

- 日時：2019年3月2日(土) 14:00～16:00
- 講師：挾間研至氏
(ファルメディコ株式会社代表取締役社長、医療法人嘉健会理事長)
- 会場：ニッテン神田ビルセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地 ニッテン神田ビル3階)
- 参加費：『月刊医療経営士』定期購読者：5,000円、
医療経営士・医療機関勤務者：7,000円、一般：10,000円 ※税込
- 定員：60名
※満員になり次第締め切らせていただきます。
- 協力：日本医療経営実践協会関東支部

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関東支社
TEL.03-3256-2885

日本栄養経営実践協会

全国栄養経営士のつどい

「地域包括ケア時代が求める栄養経営士の役割と活動」をテーマに、大阪にて開催。午前中は基調講演と特別講演を行い、午後からは全国の栄養経営士による現場からの実践報告や多職種による特別ディスカッションが行われる。

- 日時：2019年3月10日(日) 10:00～16:40
- 講師：八田告氏
(医療法人八田内科医院理事長・院長、
近江八幡市立総合医療センター腎臓センター顧問)
- 西山順博氏(医療法人西山医院院長) ほか
- 会場：国民會館武藤記念ホール
(大阪府大阪市中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階)
- 参加費：一般7,000円、栄養経営士5,000円 ※別途懇親会5,000円
- 参加申し込み：日本栄養経営実践協会ホームページから事前参加登録が必要
- 事前参加登録受付期間：2019年2月21日(木)まで

お問い合わせ 一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL.03-5289-7021